

# BE International Corporation

株式会社 ビー・インターナショナル  
〒105-0011 東京都港区芝公園 1丁目 2番 9号  
Tel 03-3436-8500 Fax 03-3436-8508  
作成日：平成20年10月20日

## 製品安全データシート MSDS

### 製造者情報

Causmag International

Park Avenue, Young, NSW 2594 Australia TEL(02) 6382 9300 FAX(02) 6382 4176

化学名 酸化マグネシウム (Magnesium Oxide)

製品名 AL3, AL4, AL6, AL7, AL8, SGW, TGM, XLM, PEXU98, PEXU99

他の名称 Magnesia マグネシア  
Calcined Magnesia カ焼マグネシア

危険物分類 該当しない

化審法化学物質 No. (1)-465

CAS No. 1309-48-4

構成要素 Magnesium Oxide 酸化マグネシウム 96-99%以上含有

#### <微量成分>

Calcium Oxide 酸化カルシウム  
Silicon Dioxide 二酸化ケイ素  
Iron Oxide 酸化鉄  
Aluminium Oxide 酸化アルミニウム

分子式 MgO

## 用途

ゴム、医薬品、セラミックス原料、各種合成樹脂の充てん剤  
触媒、耐火煉瓦、耐火物、セメント、半導体、飼料添加物、等

## 化学的性質

外観	白色粉末、顆粒及びペレット
沸点	3600℃
融点	2800℃
引火点	該当なし
蒸気圧	該当なし
溶解性	0.0086g/L(30℃) 水に溶解、アルコールに溶解しない
比重	3.58
PH値	10.3 (飽和溶液)
分子量	40.3044
発火点	該当なし
反応性	通常条件下で安定性あり 三フッ化塩素・五フッ化塩素等のハロゲン化合物、 強酸、五塩化リンと激しく反応 水と反応をして水酸化マグネシウムとなる

## 危険有害性

Worksafe Australia(オーストラリア労働安全局)の基準により有害性は無いとされる

飲み込んだ場合:	少量の摂取では毒性なし 多量に摂取すると腹痛を起こす場合あり
目に入った場合:	刺激性あり
皮膚に付着した場合:	刺激性あり
吸入した場合:	呼吸器官に刺激を引き起こす場合あり
慢性:	繰り返しや長期に渡る接触で乾燥肌や 皮膚炎を引き起こす場合あり

## 応急処置

- 飲み込んだ場合： 口を水で濯ぎ大量の水を飲む  
刺激が残る場合は医師の診断を受ける
- 目に入った場合： 直ちに目を大量の水で15分以上洗う  
刺激が残る場合は医師の診断を受ける
- 皮膚に付着した場合：直ちに石鹼と大量の水で付着部分を洗う  
刺激が残る場合は医師の診断を受ける
- 吸入した場合： 直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる  
症状が残る場合は医師の診断を受ける
- 応急処置設備： 洗顔設備を本製品の使用場所に設置する

## 人体に関する注意事項

- 目に入ること、長時間の皮膚との接触を避ける
- むね当て付き作業着の着用
- 保護眼鏡の着用
- 不浸透性保護手袋の着用
- 粉塵の発生と吸入を避ける
- 粉塵が発生している場合は呼吸用保護具を着用
- 飲食、喫煙、お手洗い使用などの前には必ず手を洗う

## 可燃性

本製品は引火性はない

## 取扱い上の注意

- 輸送： 危険物に該当しない
- 保管： 屋内に保管すること、直射日光を避ける  
ハロゲン化合物・酸との接触を避ける  
二酸化炭素や水分の吸収を避ける為、容器は密栓する
- 漏洩： 清掃作業者は皮膚及び目への接触、粉塵の吸引をさける為  
に保護具を着用し速やかに清掃作業をする  
粉塵の発生に注意しながら掃き、処分をするために適当な  
容器に捨て蓋をする。残留物は大量の水でよく洗い流す
- 廃棄処分：国内法規に従って処分する、認定産業廃棄物処理業者に  
委託する

#### 火災時の処置:

本製品は不燃性である

酸化マグネシウムは高温下(1200°C以上)で毒性がある

揮発性物質を発生する

消火作業者は呼吸器具付保護着を着用する

周囲の火災状況に適した消化剤を使用する

#### 適用法令

労働安全法: 非該当

PRTR法: 非該当

毒劇物取締法: 非該当

#### その他

毒性: TCLo; ROUTE: 吸引 400MG/m<sup>3</sup>

(参考) 'Patty's Industrial Hygiene and Toxicology', 3rd rev.

環境保全: 環境水域汚染を避けること

生分解性: 知見なし

参考文献: CAUSMAG INTERNATIONAL MSDS、他